

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策I-5-1  
雇用・就業の促進と人材の確保

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

雇用政策課長 田中 麻里

電話番号

0852-22-5296

事務事業の名称	若年者雇用対策事業	
目的	(1) 対象	おおむね40歳未満の若年求職者
	(2) 意図	県内に就職させる
事業概要	<p>&lt;ジョブカフェしまね&gt; 若年者の就業支援の充実強化と県内産業を支える人材を確保するため、一貫した就職関連サービスの提供や職業意識の醸成を行う。</p> <p>&lt;しまね若者サポートステーション&gt; しまね若者サポートステーションを国と共同で設置・運営し、ニート等の若年無業者に対して相談から就労に向けた基礎的訓練まで一貫した支援を行い、若年無業者の職業的自立を促進する。</p>	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 就職者数	目標値		1,600.0	1,600.0	1,600.0	1,600.0	人
		取組目標値						
	式・定義 ショブカフェ島根を利用した就職者数	実績値	1,570.0	1,977.0				%
		達成率	-	123.6	-	-	-	
2	指標名	目標値						人
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	114,423	125,615
うち一般財源 (千円)	114,423	125,615

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

<島根県年度平均有効求人倍率(全国)>平成26年度：1.17 (1.11) 平成27年度：1.30 (1.23) 平成28年度：1.50 (1.39)

<H29年3月新卒者の県内就職内定状況[大学院・大学]：24.4% (前年同期比2.0ポイントの低下)

<県内企業の新卒採用計画の充足率>H29.4採用：73% (3年前との比較：H26.4採用：88%)

## 6. 成果があったこと (改善されたこと)

<ジョブカフェしまね>  
・積極的な広報活動により安定した利用状況であり、平成28年度は目標数を超える就職(1,977人/年)が決定。  
・しまね学生登録について、高校在学中に登録を行うことにより、新規進学予定者の登録率が72.8% (前年度比+2.4%) の増加となった。  
・島根県立大学との連携により、浜田事務所の相談件数が大幅増の1,650人 (前年度比+1107人) となった。

<しまね若者サポートステーション>  
・平成28年度は、委託事業者の変更及び浜田ステーション(サボステ西部)の「いわみーる」への移転を機に、市町村や関係機関との連携を強化し、利用者数は前年度の348人から608人に、同じく就職者数は134名から201名に大幅に増加した。

[利用者] [就職者]

松江S	H27: 219	80
	H28: 350	101
浜田S	H27: 129	54
	H28: 258	100

## 7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

<ジョブカフェしまね>  
・インターンシップ参加者が、必ずしも県内就職に結びついていない。  
・県内企業の新卒採用計画充足率が低下している。(人手不足が加速している)  
・発信手段となる「しまね学生登録」について、進学予定者全員が登録できていない。  
<しまね若者サポートステーション>  
・松江ステーション(東部サボステ)の実績が伸び悩んでいる。

### ②困っている状況が発生している「原因」

<ジョブカフェしまね>  
・企業側にインターンシップを通じて学生に自社の魅力を伝えるノウハウがない。  
・就職活動の短期化・早期化により、学生が県内企業を研究するための時間が不足している。  
・企業の採用活動に独自性がなく、若年者を引き付ける力が弱い。  
・高校生の「しまね学生登録」の登録メリットの理解が不足している。  
<しまね若者サポートステーション>  
・浜田ステーション(サボステ西部)と比較し、事業内容の周知不足や関係機関との連携不足。

### ③原因を解消するための「課題」

<ジョブカフェしまね>  
・企業側にインターンシップを通じて学生に魅力を伝える力をつけてもらう必要がある。  
・低学年次の大学生等、就職決定に影響力のある保護者・教員の県内企業理解を深める必要がある。  
・県内企業の採用活動に若年者を引き付ける創意工夫が必要である。  
・「しまね学生登録」の登録率が低い高校等に対する登録メリットの理解促進が必要である。  
<しまね若者サポートステーション>  
・様々な機会を利用した広報や関係機関との連携強化が必要である。

## 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<ジョブカフェしまね>  
・セミナー等により企業におけるインターンシッププログラムの内容を充実させ、若年者に県内企業の魅力を伝える。  
・県内大学・高専と連携し、低学年次生から体系的な県内企業理解の促進に取り組む。また、就職決定に影響力のある保護者・教員向けに県内企業情報を提供する。  
・各高校の教員及び生徒に「しまね学生登録」による登録メリットを理解してもらうため、各校での説明会を強化。  
・「しまね学生登録」の情報を県外就職した者のUターン促進に活用できるよう関係課等と調整する。  
・若年者の採用活動に向け独自の取組をしている企業に対し、採用活動経費の一部を補助する制度の創設を検討。  
<しまね若者サポートステーション>  
・平成29年8月に、松江ステーション(サボステ東部)の「いきいきプラザ島根」への移転を予定しており、入居する各種支援機関との連携を図る。  
・県の広報や市町村への訪問等を通じて事業の周知に努めていく。また、保健・福祉・労働・教育分野の関係機関との連携を強化し、よりきめ細かい相談対応を行うことで、利用者及び就職者の増加を図る。